

法科長 加藤誠之先生から「問題を見出した時、どのように行動するか～チーム医療に関する考察～」と題し、チーム医療とリーダーシップの関連について講演いただきました。また、一般演題は24題の発表があり活発な討論が行われました。

本学術集会の開催にあたり、ご協力と多大なご支援をいただいた関係各位に心より感謝申し上げ、開催の報告といたします。

第14回北海道支部学術集会

学術集会会長：市立釧路総合病院院長 高平 真



会場風景

2014年10月11日(土)、12日(日)に日本医療マネジメント学会第14回北海道支部学術集會をANAクラウンプラザホテル釧路にて開催いたしました。

今回は「未来の地域医療に向けたネットワーク作り」をテーマとし、130名の方にご参加いただきました。11日のイブニングセミナーでは特定非営利活動法人「天かける」地域連携担当理事の佐野弘子先生をお迎えして「地域包括ケアとネットワーク～尾道方式の更なる進化を目指して～」と題して、尾道地域で1990年代から実践されてきた地域包括ケアにICTを融合させたチャレンジを報告していただきました。また、翌12日のランチョンセミナーには国際医療福祉大学大学院教授 高橋 泰先生をお招きし「人口減少社会に向かう日本の医療福祉の現状と将来予測～特に北海道に焦点を当てて～」と題してご講演いただき、データに基づいた厳しい将来予測と医療福祉の進むべき姿のヒントをいただきました。一般演題は「医療情報・分析」「感染管理」「医療連携」「医療の質向上」「人材育成・調査研究」「医療安全」の6セッションに21題の演題発表があり活発な討論がなされました。急速に進行する少子高齢化、人口減少社会に対し医療制度が大きな変革を迎える中で自院のみのマネジメントから地域を見据えた医療マネジメントネットワークの構築が求められ、参加された方々の熱意が伝わってきた集會となりました。

遠路、釧路開催というにもかかわらず多数のご参加をいただき、盛會のうちに無事集會を終了することができました。これも、ひとえに、関係の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げ、開催報告とさせていただきます。

第8回三重県支部学術集會

学術集會会長：鈴鹿回生病院附属クリニック院長 田中 公



会場風景

2014年10月11日(土)、国立病院機構三重中央医療センター、研修棟会議室において第8回日本医療マネジメント学会三重県支部学術集會が開催さ

れました。今回は「地域医療連携と院内医療連携の質の向上をめざして」をメインテーマに鈴鹿回生病院附属クリニック、田中 公先生を学術集會会長として開催されました。県内の医療機関から105名の参加があり、一般演題は22題の発表があり地域医療連携における病院放射線科の役割や薬剤科の安全管理など病院内の各部門に於ける取り組みなど興味ある発表がなされました。特別講演は宮崎県立日南病院、診療部・臨床検査科部長、同・病理診断科部長、医療管理部・医療連携科・部長の木佐貫 篤先生による「これからの地域医療連携～質の高い医療提供のために何をすべきか～」の特別講演が行われました。最後に本會が盛會のうちに終了できましたことを、ご協力いただきました関係各位に深謝申し上げます。

第13回東北連合会・第8回宮城支部学術集會

学術集會会長：国立病院機構仙台医療センター名誉院長 菊地 秀



会場風景

2014年10月18日(土)、国立病院機構仙台医療センターにて開催致しました。参加者数は200名余りでした。

今回は、東北連合会ならびに宮城支部

学術集會の同時開催とさせていただきますが、演題募集の期間が短かったにもかかわらず、予想以上に沢山の応募がありました。テーマを「地域で考える医療マネジメント」とし、医療安全・チーム医療・医療連携・感染・患者支援・教育・その他に分け、それぞれ熱のこもった発表・討論が行われました。

特別講演には、東北福祉大学教授・東北福祉大学せんだんホスピタル院長 浅野弘毅先生をお招きし、高齢